



協会ニュース

2019.2 vol.62

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260

目次

- ◇研修報告
- ◇施設紹介
- ◇協会トピックス
- ◇次回研修案内
- ◇編集後記

三重県医療ソーシャルワーカー協会研修会《研修報告》

1. 平成30年度基幹研修 | 第二期(三重県版)

日時・場所:平成30年7月8日(日) 三重大学医学部附属病院 三医会ホール

参加者:26名

- 目的:① MSWとして必要な医療知識を理解する
② MSWとして対象者を理解する視点や方法を理解する
③ MSWとして求められる面接技術を習得する

内容:セッション①医療における厚生労働行政の動向
事例検討の意義と方法
セッション②医療における「家族」の理解

講師:三重県医療保健部地域医療推進課課長 島田昇秀氏
みえ川村老健 山田剛
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部医療福祉学科 教授 松原新氏



▲基幹型研修の様子

日時・場所:平成30年10月20日(土)三重県総合文化センター 生涯学習棟4階 中研修室

参加者:29名

- 内容:セッション③医学知識 緩和ケア
セッション④医学知識 脳卒中と連携パス
セッション⑤医学知識 糖尿病
セッション⑥医学知識 在宅療養

講師:三重大学医学部附属病院 鈴木志保子
岡波総合病院 師長補佐 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 東雲洋美氏
三重県看護協会居宅介護支援事業なでしこ津 管理者 藤波恵子氏

日時・場所:平成30年10月21日(日)三重県総合文化センター 生涯学習棟4階 中研修室

参加者:28名

- 内容:セッション⑦医学知識 認知症
セッション⑧医学知識 アルコール関連問題とアディクション
セッション⑨医学知識 がん

講師:岡波総合病院 主任 老人看護専門看護師 市川智子氏
市立四日市病院 兵倉香織
三重大学医学部附属病院 師長 がん看護専門看護師 堀口美穂氏

日時・場所:平成30年12月16日(日)三重県総合文化センター 文化会館棟2階 中会議室

参加者:25名

- 内容:事例検討会
セッション⑩アセスメント
セッション⑪生活機能障害とソーシャルワーク

講師:みえ川村老健 山田剛
三重病院 高村純子
伊勢赤十字老人保健施設 虹の苑 脇海道友美

全体を通しての参加者の声:

- 医学知識やSWとしてのアセスメント技術等、実践に必要な知識技術を学ぶことができ、有意義な研修であった。
- アセスメントは患者・家族との共同作業であるということが印象的だった。
- 事例検討で様々な意見を聞くことで、色んな考え方・捉え方が分かったのがよかった。
- 学べるだけでなく、同じ三重県でMSWとして働いている方々と交流できたことも良かった。



2. スーパービジョン研修

日時・場所:平成30年7月29日(日) 10:00~17:00 三重県総合文化センター 大会議室

参加者:26名

講師:ソーシャルワーカーサポートセンター名古屋 浅野正嗣氏

目的:①事例検討とスーパービジョンの違いが理解できる

②組織内にて質の高いソーシャルワーカーを育成するためのスーパービジョン体制の構築ができる

③スーパービジョンの実践方法を習得し、スーパービジョンの効果的実践ができる

参加者の声:

○日常的にスーパービジョンを行っていきたいと思う。スーパービジョンをしてもらい、自分の考えを整理し、成果も確認でき感激しました。

○地域ユニット型スーパービジョンに興味を持った。MSWの仲間でスーパービジョンの機会を持てるといいなあと思う。

○事例検討との違いを再確認できた。バイザーを成長させるための方法、バイザーへの相談方法を少し理解できたと思う。



▲浅野正嗣講師

3. スキルアップセミナー① 回復期リハビリ・地域包括ケア病棟ソーシャルワーク実践研修

日時・場所:平成30年9月2日(日) 10:00~16:00

三重県総合文化センター 生涯学習センター・中研修室

第1部 各病院からの実践報告

講師:七栗記念病院・落合幸太郎

小山田記念温泉病院・岡あゆみ

済生会明和病院・小宮明穂

小山田記念温泉病院・川口恵生

四日市羽津医療センター・小川修

武内病院・川尻君代

三重県立志摩病院・前田小百合

第2部 リハビリ患者を支援するSWに必要なアプローチ技術

講師:七栗記念病院・下村康氏

参加者:50名

目標:①回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟でのソーシャルワーカーの役割を理解する

②リハビリテーション期の心理社会的アセスメントが的確にできる

③リハビリテーション期を担当するMSWの情報共有ができる

参加者の声:

○「何を基準に転院支援時の転院先を決めていくのか」という言葉が印象に残っている。Dr.の指示、提示だからだけではなく、患者、家族にとって適切な病院へつなぐための選定をしていかななくてはいけないと感じた。

○自分だけでは思いつかない意見や考えが聞けてとても参考になった。また、ストレングスに着目したり、思考をプラスに転換することで広がる視点にも気づくことができた。

○ストレングスの視点は忘れがち。そこから広がる支援策の力、必要性を改めて感じた。



▲9月2日の研修の様子

4. スキルアップセミナー② 身元保証人問題を考えよう ～現場からの発信で動かす身元保証問題の最前線～

日時・場所:平成30年11月11日(日) 10:00~17:00

三重県総合文化センター セミナー室C

参加者:35名

講師:同朋大学 社会福祉学部専任講師 林祐介氏

目的:①身元保証人問題の課題と取り組みについて理解できる

②医療現場で起こっている身元保証に関する課題を説明できる

③医療現場での課題や実践を整理し、ソーシャルワーカーとしての役割を説明することができる

参加者の声:

○身寄りのいない患者への支援は病院・MSWにもリスクがあるとわかった。法律的な知識を学んだことで、リスク回避の視点を持って取り組みたい。

○入院日数など目先の問題にとらわれないように落ち着いて対応し、院内にも説明ができるようにしたいと思った。

○保証人に関して自院で話し合う機会になった。



▲11月11日の研修の様子



▲林祐介講師

病院紹介《社会医療法人 畿内会 介護老人保健施設 第2おかなみ》

第6回目は、社会医療法人 畿内会 介護老人保健施設 第2おかなみからの報告です。

施設について

当施設は県北西部の伊賀地域に位置しており、畿内会 岡波総合病院を母体に持つ介護老人保健施設です。老健おかなみ(平成元年開設)に次いで2番目の老健として平成9年に開設しました。伊賀市郊外の小高い丘の上であり、周辺には山や田園風景が広がり自然豊かな環境に囲まれています。

一般療養棟100床と認知症専門棟50床の計150床を有し、居室は4人部屋と個室があります。また、短期入所療養介護、通所リハビリテーション事業も行っています。伊賀地域の方はもちろん、立地面から近隣県からのご利用者もおられます。

ご利用者の皆様と職員との共同制作物の作成や、園芸療法での農作物の育成や収穫、認知症の方への昔話や懐かしい写真等による回顧、化粧療法、音楽療法などを行い、身体だけでなく脳や心への働きかけも行っています。

支援相談員の業務について

第2おかなみには現在2名の支援相談員がおり、長期入所・短期入所療養介護と通所リハビリの相談・調整業務を行っています。他に3名の介護支援専門員がおり、それぞれ担当は分かれています。毎日些細なことも報告・連絡・相談を行い、5名で情報共有しています。

また、同法人内に老健が3施設あるため、各老健の支援相談員と介護支援専門員が毎月1回集まり、各々が参加した研修会等の内容を報告したり各施設から事例を報告したりし、情報交換を行っています。

支援相談員は事務部に所属し、普段は事務所で窓口業務や電話対応を行いながら、入所・退所調整、入所申込み相談の対応、短期入所や通所リハビリの受け入れ調整や利用日程の調整・送迎車の調整などを行っています。スムーズに利用して頂くための日々の細かい業務や他の職種との連絡調整も多いです。

ご利用中の状態や様子など、特に在宅サービスの場合はその日その日のことになるため、些細なことでもご家族や居宅の担当介護支援専門員への連絡を欠かさないようにしています。直接お話しできることもありますが、込み入った内容も電話での連絡が多くなりますので、言葉の選び方や話し方に気を付け、信頼関係を築けるように心掛けています。

介護報酬改定などにより、施設として目指すところや支援相談員に求められることは今後も変化していくと思いますが、施設の特徴を踏まえてご利用者やご家族に寄り添った支援を継続していきたいです。支援相談員は、ご利用者はもちろんご家族、居宅の介護支援専門員、MSW、特別養護老人ホームやグループホーム等の他入所施設の担当者、施設申込みを考へて相談に来られた方など、施設外の様々な方々と接する機会が多く、また施設として最初に関わる機会が多いため、施設の印象を決める窓口であることを意識し、また多職種チームの一員であることを自覚して今後も仕事に取り組んでいきたいと思っています。

(文・支援相談員 木村有紀)



社会医療法人 畿内会 介護老人保健施設 第2おかなみ

所在地：〒518-0817 三重県伊賀市下友生鳥ヶ峯 2916
電話：0595-24-6300

玄関ホール



3Fフロアから見た景色



玄関を入ってすぐの事務所にSWの席があります

近隣のおすすめ
グルメ紹介

インド・ネパールレストラン RAJA ラージャ

住所：〒519-1426 伊賀市西之澤1044-2 ☎0595-45-7003
営業時間：ランチ10:30~15:00 デイナー17:00~22:00
(土日祝は15:00~22:00) 年中無休



働いている人は皆ネパール人で、丁寧に対応して下さいます。民家のような外観ですが、中に入るとネパール音楽が流れ、異国情緒のあふれる雑貨やポスターがあり、アットホームな雰囲気です。カレーなどインド・ネパール料理が食べられます。ランチが特にお値打ちで、チーズたっぷりのチーズナンやマンゴーラッシーがお勧めです。



たけなすのランチ



『保健・医療・福祉専門職のための スーパービジョン』

著 者：福山和女・渡部律子・小原眞千子・浅野正嗣

出版社：ミネルヴァ書房

「教育・指導」の一環と捉えられがちなスーパービジョン。しかし、その本質は、バイザーとバイジーの両者が「相違性」を認識することで、より質の高い実践を可能にするための「相互作用の場」といえる。本書は、研究者・現場職員が協働して、今までに蓄積されてきた理論を踏まえ多様な事例を紹介することで、その本質と手法を解説したものである。スーパービジョンを体系的に捉えられる一冊。」(表紙裏解説全文)

今回ご紹介する本は、当協会ですーパービジョン研修の講師を行っていただいているソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋の浅野先生をはじめ、ルーテル学院大学名誉教授の福山先生、日本社会事業大学教授の小原先生、WITH医療福祉実践研究所代表理事の佐原先生を含めた総勢33名の研究者及び実践家によって制作されているもので、スーパービジョンに初めて取り組む方やスーパービジョンの中身を再確認したい方など、ソーシャルワーカーとして活動されている皆様にはぴったりの内容です。当協会でのスーパービジョン研修内容と併せ、それぞれの実践に役立てていただければと思います。

今後の研修案内

2月16日(土)
* 実践報告会
* 「ソーシャルワーカーの成長過程を考える」

3月16日(土)
* 退院支援研修会

5月18日(土)
* 総会・記念講演

詳細は協会から届くご案内を参照してください。
ふるってご参加ください。お待ちしております。



編集 後記

どんなに医学が進歩しても死に対して人間は無力で受け入れるしかないのが現実です。それは医療者であっても同じこと。ただ死に様が生き様だとしたら、私たちMSWにもできる事はあると思います。人生の軌跡に目を向けだすと、すでに話ができなくなったベッド上の患者さんの心の声が聞こえてきます。そうすることで同じ支援でも自分から発する言葉や行動の変化に自身で気づくことがあります。

目まぐるしく変わる社会情勢や医療情勢、どんなに世知辛い世の中になっても血の通った支援のできるMSWでありたいです。今年も頑張っていきましょう！

担当：兵倉・小坂・松田